

教学 IR を根拠とする教学改善の事例紹介

八戸工業大学 教育改革専門委員会

本学では、アセスメント・ポリシーに示される評価指標をもとに、学修・教育の質的向上を目的として科目レベル（個々の授業）の点検評価・改善活動を実施している。

■2024 年度 授業評価アンケート結果から分かること

本アンケートは、履修者が各科目に対して 20 項目を 5 段階で評価している。全科目の平均値は 4.07 点と高水準で、全体として履修者から高い評価を得ていることが分かる。（回答率 90%以上）

また、全体平均値を 2023 年度と比較すると、2024 年度は全ての項目において平均値が上昇していた。特に、「双方向性講義力」や「受講態度指導力」が 0.1 ポイント以上上昇しており、結果として「満足度」「関心度」「理解度」「学力向上感」の上昇につながったのではないかと推測できる。これまで行ってきた科目レベル（個々授業）の点検評価、改善活動等の取組が結果として表れており、引き続き点検、改善活動を行っていくこととする。

一方、科目レベルで見ると、数値の低い項目や自由記述欄での学生からの意見等から課題が明確になっているため、これらを改善できるように工夫が必要である。

■2025 年度 主な取組

上記の授業評価アンケートをもとに各部局で情報共有やディスカッションのうえ、有効と考えられる取組を以下のとおりにまとめた。科目の性質や内容により適不適があるため、各科目、各部局で適する取組を実践する。

	課題	取組
1	授業における理解度・達成度の向上	・別講義資料や動画を活用し講義と講義の繋がりを意識づけさせる。 ・TA, SA によるサポートを実施する。
2	授業外学修の量・質の向上	・PC 上で動作するアプリを作成、Youtube に講義内容動画を載せるなど、好きな時間に復習できる体制を整えることで理解度促進につなげる。
3	勉学意欲、授業への関心、主体性を高めるための取組み	・学生への問いかけに Google Classroom の「質問」機能を活用する。（挙手の場合は反応が悪い場合があるため）
4	学生の受講態度の改善（教員の指導方法を含む）	・Google Classroom 等を活用した資料配信を毎回の小テスト後にずらすなどして、授業に集中させるように仕向ける。